

Noto

PLUS

3



広報のと
第228号

令和6年3月1日発行

発行・能登町 編集・総務課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津下字50番地1

TEL: 0768-1611000
URL: https://www.town.noto.lg.jp
Eメール: info@town.noto.lg.jp



長く続く避難生活 足湯でほっと一息

(コンセールのと 2月13日)

町公式LINEアカウントができました!!



「友だち追加」で新着情報を受信できます



3月の災害ごみの搬入について

問 住民課 ☎ 62-8510

地震が発生した「災害ごみ」の仮置場を町内3か所に設置しています。

3月の災害ごみ搬入カレンダーは次のとおりです。

【搬入時間 9時～15時】

○藤波運動公園：地域ごとに搬入日が決まっています

持ち込めるごみ ※数字の順番で降ろしてください

- ①家電リサイクル4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機）
- ②金属くず（小型家電含む）
- ③ガラス、陶磁器
- ④瓦
- ⑤コンクリートがら
- ⑥可燃性粗大ごみ/もやせるごみ（畳、布団、ソファ、壊れたプラスチック製品など）
- ⑦壁材
- ⑧木くず（角材・柱材・木製家具など）

- 注意事項**
- 消火器、ソーラーパネルは持ち込まないでください。
 - ストーブの灯油はカセットおよび本体から抜いてください。
 - 充電式バッテリーなどの電池または乾電池は必ず抜いてください。
 - 津波堆積物の持ち込みはお控えください。
 - 藤波運動公園駐車場に、「コンクリートがら」「瓦」を持込む際は、2t車以内の車両で持込をお願いします。

月	日	曜日	地区名	
3	1	金	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	2	土	高倉・神野	小木・白丸 上町
	3	日	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	4	月	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	5	火	高倉・神野	小木・白丸 上町
	6	水	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	7	木	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	8	金	高倉・神野	小木・白丸 上町
	9	土	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	10	日	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	11	月	高倉・神野	小木・白丸 上町
	12	火	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	13	水	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	14	木	高倉・神野	小木・白丸 上町
	15	金	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	16	土	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	17	日	高倉・神野	小木・白丸 上町
	18	月	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	19	火	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	20	水	高倉・神野	小木・白丸 上町
	21	木	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	22	金	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	23	土	高倉・神野	小木・白丸 上町
	24	日	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	25	月	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	26	火	高倉・神野	小木・白丸 上町
	27	水	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	28	木	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田
	29	金	高倉・神野	小木・白丸 上町
	30	土	宇出津・藤波	不動寺・秋吉 小間生・岩井戸
	31	日	鶴川・瑞穂・波並・矢波・猪平	松波 柳田

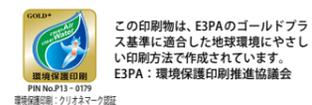
○柳田野球場横・内浦総合運動公園：どの地区の方でも搬入できます

持ち込めるごみ ①ガラス、陶磁器 ②木くず（角材・柱材・木製家具など） ③可燃性粗大ごみ

※ごみは種類ごとに分別してからお越しください
※仮置場内では係員の指示に従い、ごみは決められた場所に置いてください



「広報のと」3月号の印刷費は一部当たり 30.0円です。



たくさんの“やさしさ”チカラに変えて わっちや、やっぞ!!



あたたかいご支援・ご協力ありがとうございます

令和6年能登半島地震に対する支援金・物資など
(順不同、敬称略、2月14日までの受付分)

- 企業・団体
 - 宮城県安川町立女川小中学校児童会・生徒会
 - ライオンズクラブ国際協会336-C地区
 - (株)アイ・オー・データ機器
 - 明治安田生命保険相互会社
 - 全日本音楽教育研究会会長
 - 宮城県松島高等学校一同
 - 西入間ライオンズクラブ
 - 八徳ライオンズクラブ
 - 杜の里のとしん共栄会
 - 出雲崎町長小林則幸
 - SSTR運営委員会
 - 大野城市長井本宗司
 - 信濃町長鈴木文雄
 - 流山市市長井崎義治
 - 流山市特別職
 - 流山市部長会
 - 流山市課長会
 - (株)北國新聞社
- 個人
 - 加藤タカ子
 - 田川悦男



能登町長大森いせ

令和6年能登半島地震の発生から、2か月が経過いたしました。この2か月、皆様にはご不便をおかけし、不安なことも多くあるかと思いますが、少しずつ復旧の歩を進めています。道路については、通行に制限があるものの応急復旧が進みました。水道・下水道については、全国から多くの応援をいただきながら作業を進めています。町内全域の通水には今しばらく時間がかかる見通しです。ご不便をおかけしますが、引き続き全力で取り組んでまいりますのでご理解をお願いいたします。

応急仮設住宅は、鶴川地区66戸で3月1日から入居が始まりました。今後も順次、完成した仮設住宅への入居をご案内させていただきます。その他の地区においても早期の着工・完成となるよう石川県と連携してまいります。

災害ごみにつきましては、町内3か所で受け入れを開始し、皆様のご協力で大きな混雑もなく受け入れが来ています。今後は家屋等の公費解体が始まり、混雑が予想されますが、引き続きご協力をお願いいたします。

現在、震災後のまちづくりの基礎となる「復興計画」の策定に向けて関係機関と協議を進めています。まずは、被災された皆様の「生活再建」と事業者の皆様への「生業再建」を、国、石川県、全国の自治体からの応援職員、NPO、ボランティア、関係人口の皆さんなど、能登町を応援してくれる多くの方の力と知恵をお借りしながら、一丸となって進めてまいります。

創造的復興のためには、町民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。共に活気ある能登町を取り戻していきましょう。



『やっぞ!!能登町』に込めた想い

『震災で落ち込んだ能登町をデザインの手でひとつにし、みんなが少しでも前向きな気持ちになれるように』

『ずっと、ずっと、能登町を守り続けてくれるように』

『能登町の灯火が消えないように』

復興シンボルによく使われる言葉、がんばろう〇〇!

なんだか全然しっくりこなくて。そんなんじや全然頑張れんわ!もっと気合い入るやっぞ!!と頭によぎった言葉が『わっちや、やっぞ』

地元宇出津のあはれ祭のかけ声の一つで、日常でも使われている能登弁。

わっちや(お前)やっぞ(やるぞ)という意味で、何かをやる時にリーダーが使った言葉。奥能登の祭はイベントではなく神事。盆正月は帰って来なくても祭には帰ってくるように、みんなそれぞれの立場でそれぞれに大切に思っている。

その言葉がたっくら元気がでるし、ひとつになれる。

絶対これだと思いました。手も握手とかじゃなくて、がっちり握ってる感じに。優しい握手は能登町っぽくないなど。赤色の部分は能登町の形。そこに灯火、情熱の意を込めて。能登町の灯火が消えないように。デジタルは手描きには絶対勝てないから全て手描き。力強く、いろんなメッセージを込めて。



池崎 万優 (いけざき まゆ)

1993年宇出津生まれ
京都精華大学芸術学部造形学科
日本画コース卒業。
新卒でホテルマンになるもクリエイティブな仕事をあきらめきれずデザインを独学。制作会社入社後、2021年1月に独立。フリーランスグラフィックデザイナーとして宇出津を拠点に活動中。

地震の概要 令和6年2月20日現在

- 発生時刻 令和6年1月1日 16時10分頃
- 震源地 石川県能登地方（震源の深さ ごく浅い）
- 地震の規模 マグニチュード7.6
- 震度 震度6強（宇出津：6弱 松波：6強 柳田：6弱）
- 津波 1日16時12分 津波警報
16時22分 大津波警報に切替
- 人的被害 死者8名（内、災害関連死6名）、重傷10名、軽傷25名
- 建物被害 住家被害：全壊310棟、半壊790棟、一部損壊4,559棟
非住家被害：1,715棟
- 避難者数 最大5,481人（1月4日時点）



▲1階が崩れて電柱によりかかる家（松波）



元日の町を襲った
未曾有の大災害

令和6年1月1日16時10分。新年を祝う町をこれまでになく規模の巨大地震が襲いました。令和6年能登半島地震と名づけられたこの地震の規模は、マグニチュード7.6、最大震度7。阪神・淡路大震災を超える威力の揺れは、建物や道路、水道管や電柱、山林に至るまで、こことなくを破壊しました。海岸部では最大4メートルを超える津波が発生し、多くの家が飲み込まれ、山間部では山や崖が崩れるなど、町内全域で甚大な被害が生じました。また、建物の被害だけでなく、人的被害も発生し、8名の尊い命が失われました。避難所となった学校や公民館、集会所は、元日で帰省している方も多かったため、避難者で溢れかえり、やむなく車中泊を選ぶ方も少なくありませんでした。インフラが途絶え、物資が枯渇する中、強い余震が続き、生きている心地がしない、悪夢のような日々が続きました。元日の町を襲った、この未曾有の大災害は、私たちの心に決して消えない深い傷を残しました。



▲倒壊した家屋が道路をふさぐ（鶴川）



▲鶴川地区では家屋の倒壊が特に多く生じた



町内各地で道路の陥没や家屋の倒壊、土砂崩れが発生した



▼十郎原東谷地区に生じた土砂ダム



▲▼九十九湾周辺では建物・道路が湾内に流出した（小木）



津波が襲った後、火災が発生し、特に大きな被害に見舞われた白丸地区。日常とはかけ離れた光景が広がっている



被災者生活再建支援金制度

お住いの住宅が、り災証明書で「全壊」「大規模半壊」「中規模半壊」「半壊」と認定された世帯に対し、区分に応じて生活再建の支援金を支給します。

住宅や敷地の被害状況などから、やむを得ず、住宅のすべてを解体した場合は、「大規模半壊」「中規模半壊」「半壊」であっても、『半壊解体世帯』もしくは、『敷地被害解体世帯』として、『全壊世帯』同様の支援が受けられます。また、「準半壊」「一部損壊」の区分でも敷地被害により全部を解体した場合も『全壊世帯』と同様の支援が受けられる場合がありますので、解体前に住民課にお問い合わせください。

■支給額（カッコ内は単身世帯の場合の額）

区分	基礎支援金		加算支援金		合計
	支給額	住宅の再建方法	支給額		
全壊世帯 半壊解体世帯 敷地被害解体世帯	100万円 (75万円)	建設・購入	200万円(150万円)	300万円(225万円)	
		補修	100万円(75万円)	200万円(150万円)	
		賃貸住宅(公営住宅除く)	50万円(37.5万円)	150万円(112.5万円)	
大規模半壊世帯	50万円 (37.5万円)	建設・購入	200万円(150万円)	250万円(187.5万円)	
		補修	100万円(75万円)	150万円(112.5万円)	
		賃貸住宅(公営住宅除く)	50万円(37.5万円)	100万円(75万円)	
中規模半壊世帯 半壊世帯	—	建設・購入	100万円(75万円)	100万円(75万円)	
		補修	50万円(37.5万円)	50万円(37.5万円)	
		賃貸住宅(公営住宅除く)	25万円(18.75万円)	25万円(18.75万円)	

※加算支援金は、住宅の再建方法が2つ以上に該当する時は、最も高い額の支援金を支給します

住宅の応急修理制度

■対象となる方

災害により被害を受けた住家がり災証明書で、「大規模半壊」「中規模半壊」「半壊」「準半壊」の判定を受け、自らの資力では応急修理をすることができない者

※り災証明書において、「全壊」と判断された住宅も、修理により引き続き居住が可能となる場合は対象となります

■費用の限度額

屋根や柱など日常生活に最小限必要な部分が対象となります。詳しくは、町ホームページをご参照ください。

●全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合：706,000円以内（1世帯当たり）

●準半壊の場合：343,000円以内（1世帯当たり）

※費用は町から修理業者に直接支払います。すでに支払済ものは対象になりません

※施工中の写真は多めに撮影してください

※限度額を超える部分は、自己負担となります

■期限

令和6年12月31日までに工事が完了する必要があります。

被災者生活再建支援金制度・被災家屋等の公費解体制度・住宅の応急修理制度は、役場1階里海ラウンジにて臨時窓口を開設しています
【受付時間】9時～16時（土日祝含む毎日）

災害支援コールセンターを設置しました
能登半島地震に関する支援についてお問い合わせください
時間 午前9時～午後5時 土日祝含む毎日 ☎ 62-3085

被災家屋等の公費解体制度

被災家屋等について、生活環境上に支障がある物の除去および二次災害の防止を図るため、町が解体撤去の支援を実施します。

■解体・撤去の対象

り災証明書で「全壊」「大規模半壊」「中規模半壊」「半壊」と認定された家屋等（土蔵・倉庫などの非住家を含む）の解体・撤去について、国の補助制度を活用して支援します。

被災家屋の解体撤去を行うには、「公費解体」と「自費解体」の二つの方法があります。

方法	特徴	留意点
公費解体	●被災した家屋等を所有者に代わって町が解体・撤去します	●家屋等をすべて解体・撤去する必要があります ※一部を残すことはできません ●受付順に解体するものではないため、解体までに日数を要する場合があります
自費解体	●令和6年3月31日までに所有者が自ら業者と契約し、解体を行った上で、費用を町に請求して償還を受けるものです ※できる限り複数業者から見積書をとって、適正な価格で契約するようにしてください	●町が定めた基準額と所有者で支払った額のいずれか低い金額が上限となり、全額償還されない場合があります ●原則、家屋等の建築物が対象となるため、償還の対象とならない場合があります。緊急的な自費解体でも、必ず住民課にお問い合わせください

※いずれも申請が必要となります

り災証明書の申請手続はお済みですか？

住宅の被害程度等に応じて、町や県から支援・補助を受けて生活再建をすることができます。

住宅の被害程度はり災証明書で証明されますので、忘れずに申請をお願いいたします。

り災状況に応じた主な支援

	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	担当課
石川県災害義援金【第一次】(全町民一律配分)	全ての町民が対象となります						石川県コールセンター ☎ 0120-102-829
石川県災害義援金【第一次】(住家被害分)	○	○	○	○			総務課危機管理室 ☎ 62-8533
行政機関の税・料等の減免・猶予等特例措置	税・料等の種類により、それぞれ要件・担当課が異なります						
被災者生活再建支援金制度	○	○	○	○	注	注	住民課 ☎ 62-8510
住宅の応急修理制度	○	○	○	○	○		建設水道課 ☎ 62-8523
被災家屋等の公費解体制度	○	○	○	○			住民課 ☎ 62-8510

注：住宅や敷地の被害状況などから、やむを得ず住宅の全てを解体した世帯は、「全壊」同様の支援が受けられる場合があります

石川県災害義援金について

■全町民一律5万円の配分 → 県への申請となります。

オンラインと郵送による申請が始まりました

○オンライン申請 右のQRコードから申請を行ってください

○郵送による申請 県ホームページから申請書類をダウンロードして郵送してください

○窓口での申請 受付開始は3月中旬頃を予定しております



詳しくは石川県ホームページをご確認ください

能登半島 義援金 特別給付 検索

■人的被害・住家被害 → 町への申請となります。

○配分方法
申請に基づき、口座振込みで配分します

○申請方法
総務課危機管理室窓口（役場3階）での申請、または郵送にてお申込みください
【申請時に必要な書類】

・令和6年能登半島地震災害義援金配分申請書
・添付書類（り災証明書の写し・診断書など）
・通帳の写しまたはキャッシュカードの写し
※申請書は、町ホームページからダウンロードできます

石川県災害義援金に関するお問い合わせ窓口

■一律5万円の配分に関すること
コールセンター ☎ 0120-102-829

■人的・住家被害の配分、申請に関すること
総務課危機管理室 ☎ 0768-62-8533

○配分対象および配分金額

	被害区分	申請方法	配分金額
人的被害	死者・行方不明者	災害弔慰金の対象となった遺族に配分します（申請不要）	20万円/人
	重傷者	負傷した本人が申請してください	10万円/人
住家被害	全壊	被災者生活再建支援金を申請した世帯は、申請不要です	20万円/世帯
	大規模半壊		15万円/世帯
	中規模半壊 半壊	世帯主が申請してください	10万円/世帯 5万/世帯

行政機関の税・料等の減免・猶予等特例措置について

■健康福祉課からのお知らせ

健康福祉課で受付・対応している次のことについて、減免・免除等を実施します。（※それぞれ要件が異なります）詳しい内容につきましては、決まり次第、町広報・HP等に掲載いたします。

対象

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料・障害福祉サービス等に係る利用料・介護サービス利用料・医療機関等の窓口支払・保育料

問合せ先

医療係 ☎ 62-8512 児童福祉係 ☎ 62-8513
福祉係 ☎ 62-8515 介護保険係 ☎ 62-8517

■国民年金保険料免除について

災害等によって被災し、住宅、家財、その他の財産のうち、被害金額がおおむね2分の1以上の損害を受けられた方等は、ご本人からの申請に基づき、国民年金保険料の納付が免除されます。

免除となる対象者の範囲の詳細や申請手続きについては、住民課またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

問合せ先 七尾年金事務所 ☎ 0767-53-6511
住民課 ☎ 62-8510

お知らせ
国民年金保険料 年度途中からでもまとめて振替可能

令和6年3月以降のお申込みから、振替(立替)方法に前納(6か月・1年・2年前納)を選択する場合、年度途中からでも口座振替またはクレジットカード納付によるまとめ払い(前納)ができるようになります。まとめて前払いすると割引が適用されるのでお得です。



○3月以降の振替(立替)方法

申出書の提出後、初回振替日に年度末(2年前納を選択した場合は翌年度末)までの前納の保険料が振替されます。ただし、6か月前納をお申込みされる場合は、前月分の保険料(クレジット納付)の場合には当月分の保険料(クレジット)を初回振替日以降、毎月9月末まで振替されます。その後、10月末に9月および10月分から翌年3月分までの6か月分の前納保険料(クレジット)の6か月分の場合には6か月分の前納保険料のみを振替されます。

詳しい内容は、日本年金機構のホームページをご確認ください。
〒7尾年入事務所 ☎0767(53)6511

ニュース
全国小学生作文コンクール 受賞報告

宇出津小学校3年生の重國愛奈さんが、第32回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」で警察庁長官賞を受賞しました。今年度は全国から4,347点の作品が寄せられました。1月31日、受賞について教育長へ報告のため来庁しました。

重國さんの作文「やさしいおまわりさん」は、落とし物の小銭を警察に届けに行き、「いいことをしたね」とおまわりさんがにっこり笑って頭をなでてくれたあったかい手のエピソードが描かれています。



賞状を手にする重國愛奈さん(中央右)と眞智教育長(右)、坂口校長(左)

重國さんの作文は、読売新聞社のホームページで読むことができます。QRコードを読み込んでください。



お知らせ

火災予防に努めましょう

これからの季節、空気が乾燥し火災の発生しやすい気象状態となります。また、能登半島地震による水道管の不具合により消火に使用する水が不足していますので、屋外、山裾でのたき火など、火の取扱いには十分注意してください。

お知らせ

町村史がインターネットで閲覧できます

現在、図書館で閲覧することができる町村史をデジタル化しました。インターネットに接続できるパソコンやスマートフォン、タブレットなどでいつでもどこでも閲覧できます。郷土学習や歴史調査などにさまざまな機会でご活用ください。



URL <https://notown-history.jp>

☎(62)8532



ニュース

町ボランティア養成講座 受講者16人に修了証書授与

10月から12月にかけて計6日間に渡り開催された令和5年度の町ボランティア養成講座は、12月19日にコンセルのところで修了式が行われ、終了した16人に修了証書が授与されました。講座は、講義や運動の実技、調理実習などで構成されており、真剣に楽しく健康づくりについて学びました。修了したみなさんは、春から食生活改善推進員、健康づくり推進員、老人保健ビジター会員、母子保健推進員の4つの組織の健康づくりボランティア(の)と四ツ葉の会(会員)として活動します。温かいご支援、ご協力よろしくお願ひします。

修了者数(延べ22人)

食生活改善推進員11人、健康づくり推進員2人、老人保健ビジター会員6人、母子保健推進員3人

修了証書を受領した受講者のみなさん



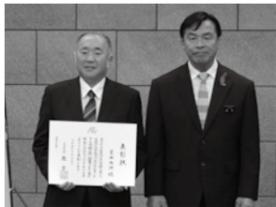
ニュース

自主防災組織等知事表彰受賞

12月27日、県庁で行われた、令和5年度自主防災組織等知事表彰式において、新保自主防災組織と防災士の室谷尚伸さん(宇出津)が、石川県知事表彰を受賞しました。当日は、同自主防災組織の干場一吉会長と、室谷さんが表彰式に参加し、馳石川県知事から直接表彰を受けました。

新保自主防災組織は平成24年7月に結成されました。毎年地区の防災訓練を活発に実施し、避難経路の定期的な点検・管理、避難路へのセンサーライトの取り付け等、10年以上にわたり地区の防災啓発活動に努めています。室谷さんは平成17年に町内でも最も早く防災士の資格を取得しました。平成27年には能登町防災士の設立に尽力し、設立後は役員として防災啓発活動や防災士の技術向上・知識普及に努めました。

馳知事と賞状を手にする干場一吉会長(写真上)と室谷尚伸さん(写真下)



ニュース

応急仮設住宅「うかわ団地」が完成しました

令和6年能登半島地震に伴う応急仮設住宅「うかわ団地」の一部(66戸)が完成しました。

2月25日に入居者説明会が開催され、3月1日より随時入居となります。今後も被災された皆様に早く仮の住まいを提供できるよう整備を進めていきます。

※写真は仮設住宅のイメージです



今後の建設予定箇所

- ・旧瑞穂小中学校グラウンド
- ・旧上町小学校グラウンド
- ・旧小本小グラウンド
- ・旧白丸小学校跡地
- ・藤波運動公園ピアッツァ

※柳田地区・松波地区でも建設するため調整中です。
☎建設水道課(62)8523

お知らせ

中小企業・小規模事業者の皆様へ

地震災害の影響を受けた中小企業・小規模事業者を支援するため、県内に相談窓口を設置するとともに、災害救助法が適用されたことに伴い、経済産業省が支援を行います。

また、県でも事業復旧に向けた補助制度を検討しています。

■能登事業者支援センター

事業再建に向けた経営相談、補助金・融資・雇用維持などの支援制度に関する相談ができます。

場所 県奥能登総合事務所 4階
時間 10時~17時(土日祝除く)
電話 0768(26)2380

■ワンストップ相談窓口

時間 9時~18時(土日祝含む)
電話 0120-1330-955

お知らせ

地域の貴重な「たからもの」を捨てないで!

自宅に保管されていた古い文書(主に戦前まで)などがある場合や、廃棄されそうになっている現場を見かけたら、連絡先までご相談ください。

☎眞協遺跡縄文館(62)4800
☎教育委員会事務局文化財係(62)8537

補助金はあるの?

工事業者はどこに頼めばいいの?

浄化槽の調査をしてほしいな



被災した浄化槽についての
コールセンターが出来ました!!

☎ 0120-326-121
受付時間: 9時~17時30分(日曜祝日除く)
mail: noto@zenjohren.or.jp

コールセンターは、浄化槽の復旧に係る相談窓口を一元化し、被害状況調査から復旧工事までを一体的に支援し、早期復旧を図るものです。浄化槽の使用の可否や、今後の調査・復旧工事等に関する問い合わせ・相談などに対してわかりやすく説明を行います。ぜひご利用ください。

4月から有線放送の使用料と手数料が変わります

●インターネット初期登録手数料を始め、各種手数料を廃止します。

廃止する手数料

- ・インターネット初期登録手数料 4,400円
- ・休止手数料 1,100円
- ・再開手数料 1,100円
- ・更新手数料 2,200円
- ・送信停止手数料 2,200円
- ・送信停止後再開手数料 2,200円
- ・メールアドレス変更登録手数料 1,100円

●全期前納割引制度を廃止します。
4月30日までに1年分の有線テレビ・インターネットの使用料を前納した場合に割引していた全期前納割引(1,100円)を廃止します。

現在、地震により有線放送施設に被害が生じ、テレビのご視聴ができない地域がございます。ご不便をお掛けしておりますが、復旧まで今しばらくお待ちください。

☎総務課 ☎ 62-8532

【能登町役場】

- 〒927-0492
宇出津ト字50番地1
☎62-1000 FAX62-4506
- 4階
議会事務局 ☎62-8540
- 3階
総務課 ☎62-8532
危機管理室 ☎62-8533
秘書室 ☎62-8534
企画財政課 ☎62-8535
教育委員会事務局 ☎62-8537
- 2階
建設水道課 ☎62-8523
農林水産課 ☎62-8524
農業委員会 ☎62-8525
ふるさと振興課 ☎62-8526
地域戦略推進室 ☎62-8527
- 1階
住民課 ☎62-8510
会計課 ☎62-8511
健康福祉課
医療 ☎62-8512
児童福祉 ☎62-8513
健康推進 ☎62-8514
福祉 ☎62-8515
包括支援センター ☎62-8516
介護保険 ☎62-8517
税務課
納税 ☎62-8518
収納 ☎62-8519

- 柳田総合支所 ☎76-8300
- 情報ネットワークセンター
CATV放送室 ☎76-8301
- 内浦総合支所 ☎72-2500
- 小木支所 ☎74-1111
- 鶴川支所 ☎67-2221

災害に強いまちを目指そう！

能登町防災士会

「命を守る」

住宅の耐震化を進めよう！

令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。国の「住宅・土地統計調査」によると、現行の耐震基準が導入されていない1980年(昭和55年)以前に建てられた住宅の割合は、能登町が全国の市区町村中2番目に高い61%であることがわかりました。地震の被害を少なくするためには、住宅の耐震化を進めることがたいへん重要です。耐震補強工事の方法には4種類がありますので、自宅を修繕等される場合は是非参考にしてください。なお、今後国の基準も変更になる場合があります。建築士や工事業者の意見も参考にしましょう。

<壁の増設>

外壁やクロスの下地に耐震壁を設置して、耐震性を高める方法です。耐震性の高い下地や、筋交いなどの部材を入れて強度を高めます。一般的に外壁よりも内壁の方が安くなる傾向があります。ただし、外壁や内壁を一度剥がして貼り直す作業があるので、他の工事方法と比べるとやや高額になりがちです。

<基礎の補修>

基礎を打ち増ししたり、ひび割れを補強したりして、強度を上げる方法です。元々の基礎を活用するので、壁の増設よりは費用が抑えられます。新たに基礎を増設する必要がある場合は、コストが増す可能性があります。

<屋根の軽量化>

瓦などの屋根を、より軽い素材に替えることで建物にかかる負荷を軽減します。建物を軽くすることで、耐震性を上げることができます。ただし、旧来の木造住宅・ほぞ組住宅では部材の継ぎ手に十分な補強金具が必要になります。費用は壁の増設の方が安く済む場合があります。屋根瓦などの劣化が見られるタイミングでの補修がおすすめです。

<金具の設置>

耐震性を高めるために、専用の耐震金具を設置します。建物を構成する土台や柱などが交わる部分に設置することで、耐震性を上げることができます。装置自体はそれほど大がかりなものではなく、補強工事の中では比較的安価といえます。

そのほか、家具転倒防止金具を取り付けることも、地震対策に有効であるといえます。ご家族で相談し、地震に強いさまざまな方法を検討してください。

☎能登町防災士会事務局(総務課危機管理室内) ☎62-8533

家庭から出る生活ごみの収集について

3月4日(月)から「もやせる大型」以外の家庭ごみについて、通常通り(ごみカレンダー通り)の収集を再開いたします。

町指定のごみ袋に入れて、午前8時30分までに所定の場所へ出してください。

※もやせる大型ごみについては、現在受け入れ施設の被災により収集ができません。

再開については後日改めてお知らせいたします

※分別方法については、ごみ分別冊子をご確認ください

☎住民課 ☎ 62-8510

予約制乗合タクシーを再開しています

自宅・避難所から宇出津市内の病院や商店へ行くことができます。



運行日 月曜から金曜(土日祝は運休) 利用料金 700円(片道1人)

おでかけ便

(自宅から宇出津へ)

予約受付は1週間前から
前日の9時~15時まで

便名	上長尾合鹿エリア	当目柳田エリア	柏木宮地鶴町中斉エリア	瑞穂鶴川エリア	真脇小木白丸エリア	不動寺松波エリア
----	----------	---------	-------------	---------	-----------	----------

1便	柳田着8:15着 宇出津到着8時30分頃着 (宇出津のどこでも降りられます)					
----	--	--	--	--	--	--

2便	柳田着9:45着 宇出津到着10時00分頃着 (宇出津のどこでも降りられます)					
----	---	--	--	--	--	--

※道路状況により送迎時間が前後する場合があります

おかえり便

(宇出津病院前から自宅へ)

予約受付は出発の
1時間前まで

便名	上長尾合鹿エリア	当目柳田エリア	柏木宮地鶴町中斉エリア	瑞穂鶴川エリア	真脇小木白丸エリア	不動寺松波エリア
----	----------	---------	-------------	---------	-----------	----------

1便	11:30頃発	11:30頃発 柳田 11:45頃発	11:45頃発	11:45頃発	12:00頃発	12:00頃発
----	---------	--------------------------	---------	---------	---------	---------

2便	13:15頃発	13:15頃発 柳田 13:30頃発	13:45頃発	13:30頃発	13:30頃発	13:00頃発
----	---------	--------------------------	---------	---------	---------	---------

3便	15:00頃発	15:15頃発 柳田 15:30頃発	15:20頃発	15:30頃発	15:00頃発	15:30頃発
----	---------	--------------------------	---------	---------	---------	---------

予約方法

会員証をご用意ください

予約センター(公立宇出津総合病院院外処方箋コーナー)に電話または窓口にて乗合タクシーを予約したいと伝え、①会員番号 ②名前 ③乗りたい日 ④乗りたい便を伝えてください。

予約時間 平日 9時~15時



予約センター ☎62-1316

会員登録

ご利用には会員登録が必要です

会員登録は宇出津総合病院内の予約センター窓口(院外処方箋相談コーナー)へ直接連絡するか、企画財政課(☎62-8535)へお電話ください。
・住所・氏名・生年月日・電話番号を伝える
後日、会員証が自宅に届きます
※会員になれるのは能登町民で、一人で乗り降りできる方に限られます

注意事項

- 予約について
 - ・おでかけ便の予約は前日の15:00までに(月曜日の利用は金曜15時まで、金曜が祝日の場合は木曜まで)
 - ・おかえり便の予約は出発の1時間前までに
 - ・能登町域内電話は繋がらないので注意してください
- キャンセルについて
 - ・予約をキャンセルする場合には、必ず1時間前までに予約センター(☎62-1316)へ連絡してください
 - ・直前のキャンセルには料金がかかる場合があります
- 乗り場について
 - ・おかえり便の乗り場は宇出津総合病院です
 - ・当目柳田エリアの方は柳田総合支所でも乗り降り可能
- 付き添いについて
 - ・付き添い者が会員であれば700円を支払って同乗できます
 - ・会員でない方の同乗はできません
- 利用の際は
 - ・乗車時に運転手へ会員証をお見せください

予約制乗合タクシーに関するお問い合わせは
企画財政課 ☎62-8535まで

募集

奥能登広域圏事務組合会計年度任用職員募集

令和6年度奥能登広域圏事務組合会計年度任用職員（相談員）を募集します。

採用予定人数 1人

応募資格 平成18年4月1日以前に生まれた人 *正式に非常勤職員と採用された場合は、消費生活相談に関する研修を受講し、相談員資格を有するための試験を受けていただきます。

申込期間 3月8日⑤17時15分まで
選考試験 応募用紙をもとに、随時面接を行います。

※面接日時および会場は、応募受付後ご連絡します。

応募用紙 奥能登広域圏事務組合の事務局にあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

https://www.okntkoik.jp/

応募・問合せ先

奥能登広域圏事務組合事務局
(〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1)
☎0768-26-2314

能登町奨学生を募集します

令和6年度能登町奨学金貸与を受ける生徒・学生を募集します。詳細については、町ホームページまたは下記までお問い合わせください。

貸与区分 金額（月額）
高校 20,000円
短大・高専 25,000円
大学 30,000円

貸与資格

以下の要件を満たす人。

- ①本町に現に引き続き3年以上居住する者の子弟であること。
- ②以下のいずれかに在学し、品行方正、学術優秀および身体強健であること。
・高等学校（特別支援学校の高等部を含む）
・高等専門学校または専修学校の修業年限が2年以上の高等科もしくは専門課程
・大学（大学院を除く）
- ③学費の支弁が困難であること。
- ④同一世帯もしくは、2親等以内の親族に町税等について滞納がないこと。

受付期間

4月10日⑤～4月30日⑤
提出先 教育委員会事務局または柳田総合支所・内浦総合支所
教育委員会事務局
☎62-8537

案内

弁護士無料法律相談【予約制】

法律の専門家である弁護士が、財産・相続・家庭問題などの相談に応じます。

日時 3月8日⑤

場所 内浦総合支所 相談室
定員 4人（相談は1人30分まで）
予約・問合せ 町社会福祉協議会
☎72-2322

休館のお知らせ

うみとさかなの科学館、のと海洋ふれあいセンターは、地震の影響により当面の間休館いたします。再開の際には改めてご案内しますのでよろしくお願いたします。

図書館へおいでよ



中央図書館の新刊



川のある街
江國香織／著

ひとが暮らすところには、いつも川が流れている。はかなく移りゆく濃密な生の営みを、人生の3つの＜時間＞を川の流れる3つの＜場所＞から描く、生きとし生けるものを温かく包みこむ慈愛の物語。

- ・きらん風月 永井紗耶子／著
- ・ユーカラおとめ 泉ゆたか／著
- ・K+ICO 上田岳弘／著
- ・夜明けの花園 恩田陸／著
- ・農家が教えるよもぎづくし 農文教
- ・山口恵以子のめしのせ食堂 山口恵以子／著

■展示コーナー【下半期ベスト100】

2023年10月～2024年2月末までの貸出ランキングをお届けします！
人気な本は何か？読んでみたい本がベスト100に入っているかな？
借りるときの参考になるので人気で一す♪♪♪
たくさん借りていってくださいね！

- ・なんだか毎日うまくいく100のヒント 植西聡／著
- ・圧倒的な力で世界を切り拓く大谷翔平の言葉 桑原晃弥／著
- ・弁当にも使えるやる気1%ごはん作りおき まるみキッチン／著

3月のカレンダー

中央図書館

☎62-8520
開館 9:00～15:00
休館 日・月・祝

松波図書館（分館）

☎72-1819
開館 9:00～17:00
休館 日・月・祝

柳田教養文化館

☎76-1585
開館 9:00～15:00
休館 日・月・祝

※今月の「加夢加夢おはなし会」は中止です

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 Ⓜ松柳	4 Ⓜ松柳	5	6	7	8	9
10 Ⓜ松柳	11 Ⓜ松柳	12	13	14	15	16
17 Ⓜ松柳	18 Ⓜ松柳	19	20 Ⓜ松柳	21	22	23 Ⓜ館内整理休館
24 Ⓜ松柳	25 Ⓜ松柳	26	27 Ⓜ館内整理休館	28	29	30
31 Ⓜ松柳						

Ⓜ=休館日 Ⓜ=中央図書館 Ⓜ=松波図書館（分館） Ⓜ=柳田教養文化館



ひまわりカードだより

デリースクラッチキャンペーンは3月31日⑤まで毎日実施中
抽選で毎日100人に100P（クーポン）が当たります

詳しくはコチラ➡



【ひまわりカード Q&A】

Q1 カードをなくしてしまいましたが、どこで手続きできますか？

A1 以下の場所で再発行手続きができます。再発行手数料は原則500円ですが、震災に起因して紛失した場合は無料（4月28日⑤締切）とします。

能登町商工会（☎62-0181）または各支所、内浦商店連盟協同組合（☎74-1341）

※新規発行についても上記場所にて手続きができます。手数料は4月28日⑤まで無料です。

Q2 1月末（または2月末）期限の電子マネーが使い切れませんでした。何とかならないですか？

A2 内浦商店連盟協同組合（平日10～12時、13～16時）までご連絡のうえ、ご相談ください。

能登町キャッシュレス決済推進協議会（能登町商工会☎62-0181／内浦商店連盟協同組合☎74-1341【10:00～16:00】）

有料広告

お申込み・お問い合わせは
TEL 62-4688 FAX 62-4689

地域の事業所、ご家庭の皆様へ
シルバー人材センターにおまかせください！

働く喜びと社会参加を！
会員募集中！！



- | | |
|---|---|
| ご家庭で… | 事業所で… |
| ◆草むしり・草刈
◆庭木の剪定
◆屋内外の清掃
◆子育て支援
◆留守番
◆宛名書き
◆除雪 | ◆簡単な大作業
◆不用品処分
◆入院中の洗濯
◆農作業
◆ペンキ塗り
◆雪囲い
◆墓そうじ |
| ◆障子・網戸の張替え
◆引っ越しのお手伝い | ◆イベント・催事設営等 |
| ◆自動車運転
◆賞状・宛名書き
◆袋詰め・梱包
◆配達手伝い
◆血洗い
◆封入作業
◆倉庫整理 | ◆施設内外清掃
◆店舗内清掃
◆施設の受付
◆チラシ配布
◆樹木管理
◆各種内職
その他… |

お申込み・お問い合わせはお気軽にお電話ください

児童館からのお知らせ

こどもみらいセンター

☎62-1503（域内☎65-1503）

現在、児童館は閉館中です。
子育て支援ルームは、次の時間に利用できます。

- ◆開館 10:00～15:00
- ◆休館日 土・日曜



まつなみキッズセンター

☎72-0269

通常開館しています。
どうぞご利用ください。

- ◆開館 10:00～18:00
- ◆休館日 日・月曜



3月1日～7日は子ども予防接種週間です

麻しん風しん予防接種（第2期） ～小学校入学前にお忘れなく～

対象 保育所・こども園年長児
(H29.4.2～H30.4.1生)

期限 **3月31日** ㊦

※4月以降は公費対象外となり、自己負担が約1万円かかります。

※予診票紛失の場合は、健康福祉課 ☎ 62-8514 まで

まだ接種していない
ワクチンはありませんか？
母子手帳で確認しましょう

日本脳炎や二種混合
(ジフテリア・破傷風)
など、まだ受けていない人は小中学校入学までに早めに接種しましょう。



申請はお済みですか？ インフルエンザ予防接種助成金

対象者

65歳以上または1歳～高校3年生の年齢（H17.4.2以降生）で
全額を払って接種した人（接種時年齢）

助成金額

予防接種にかかる費用から自己負担1,000円を除いた額

申請先

健康福祉課、柳田・内浦総合支所、鶴川・小木支所

持ち物

インフルエンザ予防接種の領収書、振込先のわかるもの、接種済証や
母子手帳など接種したことがわかるもの、本人確認書類（接種者・申請者）

申請期限 **3月31日** ㊦



がん治療の療養生活支援 アピアランスケア助成

がん治療に取り組んでいる方の療養生活の質の向上を支援するため、ウィッグおよび乳房補整具の購入費用の一部を助成しています。申請は、購入から1年以内となっていますので、ご注意ください。

対象者（次のいずれにも当てはまる方）

- 申請日に能登町に住所を有している
- がん治療を受けた、または現在治療を受けている
- がん治療に伴う脱毛、または乳房切除により補整具を購入した

対象となる補整具・助成金額

補正具の種類		助成上限額
ウィッグ (医療用以外も対象)	頭皮保護用ネット、 ウィッグ付き帽子を含む	2万円
乳房補正具	補整下着、下着とともに使用するパッド および人工乳房含む	左右各2万円

申請方法

次の書類を、補整具を購入した日から1年以内に健康福祉課までご提出ください。

能登町アピアランスケア助成金交付申請書兼請求書
がん治療を受けている、または受けたことが分かる書類
(治療方針計画書、診療明細書、お薬手帳などの化学療法または手術に関する説明書)
補整具の領収書（購入日、金額、商品がわかる書類）
振込先の口座が分かる書類（通帳など）

*申請時には本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカードなど）をご持参ください。

※令和5年4月1日以降に購入した補正具が対象です。
※各1回の助成となります。

3月は自殺対策強化月間です

一人ひとりが身近な人たちの「ゲートキーパー」となり

大切な命を守りましょう

「ゲートキーパー」とは

身近な人の“こころのSOSサイン”に気づき、声をかけ、適切な対処ができる人です。「命の門番」とも言い、こころのSOSサインに①気づき、②相手の気持ちに寄り添って話を聴き、③適切な支援につなげ、④見守っていく人のことです。あなたの勇気と行動で救える命があります。



震災後の心と体の変化について

ショックな出来事を体験した後、私たちの心と身体にはさまざまな変化が起こります。

- 眠れない
- イライラする
- 誰とも話す気になれない
- 不安が強い
- あの時の光景が繰り返し浮かぶ
- 身体の調子が悪い

これは、日常とはかけ離れた大変な出来事に対する正常な反応です。多くの症状は時間がたつと自然に回復していきます。症状が長引くようなら、こころのクリニックへの受診や下記の相談窓口にご相談をお勧めします。

対応方法

1. 休息をとりましょう
2. 食事や水分を十分にとりましょう
3. お酒やカフェイン（コーヒー、緑茶、紅茶など）のとりすぎに注意しましょう
4. 心配や不安を一人で抱えずに、周りの人と話しましょう
5. お互いに声をかけましょう

<不安や心配を和らげる呼吸法>

☆『6秒で大きく吐き、6秒で軽く吸う』を朝・夕5分ずつ行う



お一人だけで抱え込まずにご相談ください

【相談窓口】

- ◎能登半島地震・石川県こころのケアセンター
☎ 0120-333-247 受付：平日9時～17時
- ◎石川県こころの健康センター
☎ 076-238-5750 受付：平日8時30分～17時15分
- ◎石川県こころの相談ダイヤル
☎ 076-237-2700 受付：平日9時～17時
☎ 0570-783-780 受付：平日17時～翌9時（土日祝日）
- ◎よりそいホットライン
☎ 0120-279-338 受付：10時～22時



【被災された方・支援されている方へ】

石川県こころの ケアセンター

電話番号：0120-333-247
電話時間：9時～17時（月～金）
お気軽にご相談ください。

かかりつけ医療機関に通院ができない場合の薬の処方について

かかりつけ医療機関の被災や交通手段の断絶により通院ができなくなっている方は、お薬手帳など処方内容が分かるものを提示すれば、お近くの医療機関でも処方できます。その際は事前に医療機関に連絡、確認してから受診してください。



公立宇出津総合病院だより

☎ 62-1311 http://www.hospitalnet.jp/

■外来診療を再開しています

- 内科・外科・整形外科・皮膚科・眼科
(月曜～金曜) 9:00～12:00 (受付 7:35～11:30)
※内科外来は一部制限があります。詳細は、ホームページまたはお電話でご確認ください。
- 循環器科
(毎週月曜) 9:00～12:00 (受付 7:35～11:30)
- 内分泌科
(隔週月曜) 9:00～12:00 (受付 7:35～11:30)
- 神経科精神科
(月・水) 予約制 / 9:00～12:00 (受付 7:35～11:30)
- 小児科
(月～木) 事前に要連絡 / 10:00～14:00 (受付 7:35～13:30)

※泌尿器科・耳鼻咽喉科・呼吸器科・婦人科・脳神経外科・心臓血管外科・検診科の再開はしばらくお待ちください (薬の処方をご相談ください)

■感染防止対策にご協力ください

- 入院患者様への面会は、禁止いたしております。
- ご来院の際は、マスクの着用、手指消毒をお願いします。
- 発熱、咳、嘔吐などの症状が見られる場合は、まずはお電話でご相談ください。また感染者との接触があればお申し出ください。

こ	せ	き
の	ま	ど
12/15	～	2/14

敬称略。個人情報保護のため希望のあった人のみ掲載しています

しづる

……すこやかにすくすくと

出生児	両親の名前	住所
川崎礼乃	裕行・美咲	宇出津
上野結稀	貴喜・ひとみ	宇出津
寺下真白	洗平・恵利那	宇出津
野口嶺燈	響・百香	藤波
坂本暖真	佳隆・紗弥香	布浦
西山 繻	棕・夏子	宇出津

高砂や

……いつまでもお幸せに

氏名	本籍	住所
上野和音	上町	上町
家蔵久美	中能登町	上町
時兼章泰	珠洲市	上町
尾近愛良	富山県	藤波

氏名	年齢	住所
竹内 洋	小川	小川
堺 絵理	真脇	真脇
中谷内 聡	四方山	真脇
藪 瑞稀	宇出津	宇出津
時長 大和	宇出津	宇出津
山本 英里	鶴川	宇出津

おくやみ

……ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	住所
中川よき	97歳	上長尾
本谷百子	100歳	真脇
山岸勇平	90歳	真脇
岩本美智子	93歳	柳田
谷口きみ子	82歳	柳田
古谷よし子	88歳	布浦
大門フミ子	91歳	瑞穂
段 辰雄	77歳	宇出津
前 政子	100歳	十郎原
梅木利雄	91歳	宮地
大塚 博	82歳	当日
山本まき	88歳	内浦長尾
宮下利子	87歳	姫
宮井茂男	49歳	大箱
清田菊美	81歳	宇出津
藪下トキ	97歳	松波
岩本美恵子	97歳	真脇
坂下シサ	95歳	白丸

小正 勲	森銀治郎	新谷芳子	島 すみ	中谷澄江	妹石キヨエ	林 賢治	木地孝行	谷内勇二	上野久男	久田悦次	山口 實	谷内美佐乃	竹本正子	瀬戸寛市	石崎廣子	酒元キクエ	上田いさの	西原三喜男	高橋千代子	山下次郎	濱田祐嗣	北畠弘信	猪子トミ子	濱谷なみ	村田宗仁	藏やよみ	小杉正雄	石井 洋	谷内厚郎
83歳	13歳	89歳	95歳	78歳	91歳	43歳	73歳	74歳	71歳	99歳	88歳	91歳	84歳	78歳	88歳	99歳	93歳	71歳	100歳	96歳	87歳	65歳	94歳	99歳	56歳	98歳	90歳	81歳	78歳
宮 犬	松 波	市之瀬	越 坂	宇出津山分	柿 生	内浦長尾	宇出津	七 見	越 坂	宇出津山分	宇出津	上長尾	柳 田	越 坂	小 木	波 並	崎 山	布 浦	宇出津	藤 波	松 波	崎 山	波 並	宇出津	松 波	国 光	布 浦	小 木	真 脇
中田文枝	小浦清香	水上福澄	橘マスエ	池端 満	玉川トキ子	森下刃松	駒寄静枝	藪下テル子	澁田信子	小谷きよ	大間みよ子	谷内ユリ子	吉尾喜三郎	若間野國良	坂口定子	表野美智代	高橋平咲	井元マノブ	前 順造	中野初枝	町分洋子	小藪一男	道下忠一	武元みつ	西野治子	出村征昭	谷 増夫	寺下みゆき	中田しげ子
86歳	87歳	87歳	87歳	84歳	92歳	86歳	95歳	83歳	98歳	103歳	91歳	63歳	92歳	85歳	94歳	89歳	76歳	94歳	80歳	96歳	92歳	93歳	89歳	86歳	80歳	80歳	75歳	100歳	86歳
宇出津 見	藤 波	布 浦	崎 山	新 保	瑞 穂	当 目	布 浦	石 井	石 井	石 井	真 脇	石 井	明 生	柳 田	宮 地	瑞 穂	矢 波	藤ノ瀬	合 鹿	柳 田	宇出津	松 波	波 並	布 浦	藤 波	真 脇	宮 地	七 見	宇出津山分

消費生活トラブル対策

消費者被害の未然防止に向けて

消費生活に関する被害防止や消費者保護に向けた取組みを継続的に推進するため、大森町長より意思表示がなされました。

相談窓口

わからないことや不安なことはひとりで悩まず相談を！

- ・町消費生活相談窓口 (住民課内) ☎ 62-8510
 - ・奥能登広域消費生活センター ☎ 0768-26-2307
- 消費者ホットライン
局番なしの☎ 188 (イヤヤ！)

令和6年能登半島地震からの復旧、復興に向けた皆様のご協力につきまして、深く感謝を申し上げます。近年、私たち消費者を取り巻く環境は大きく変化しています。新しい商品やサービスが登場するなどにより、消費生活に関する問題はより複雑かつ多様化しています。

悪質業者による手口や手法の巧妙化が進み、最近では災害に便乗した点検商法や訪問販売、訪問買い取りなどトラブルの相談が多く寄せられている状況となっております。

こうした状況に対応するため、能登町では、消費者行政強化(推進)事業費補助金を活用し、消費生活相談窓口を設置して問題解決のための助言等を行っています。また、消費者トラブルの未然防止のため町広報誌での注意喚起や出前講座、グッズ・チラシを配布するなどの啓発活動も実施しております。

さらに、奥能登2市2町で「奥能登広域消費生活センター」を広域運営し、在駐している専門の相談員が対応するなど、消費生活相談体制の充実と強化を図っております。

今後も皆様の暮らしの安全安心を確保するため、継続的に消費者行政の推進と強化に取り組んでまいります。

令和6年3月

能登町 大森町

有料広告

笑顔でいきいき！

人生100年

時代

シニアの新しい働き方 (60歳以上)

能登町シルバー人材センター

鳳珠郡能登町宇出津ハ字 128 (☎62-4688)

詳しくは **能登町シルバー** で **検索**

高齢者活躍人材確保育成事業 石川県シルバー人材センター連合会

テレビ・域内電話・インターネット・告知放送のトラブル時は

能登町ネットワークカスタマーズセンター

☎76-8005 (平日8:30~17:15)

●人口・世帯数 2月1日現在 (前月比)

人口(人)	15,064	-123
男	7,184	-55
女	7,880	-68
世帯数(戸)	7,154	-64

善意の窓

ご寄付ありがとうございました

能登町へ

奥能登SUPPORT

GAMESさん (東京都) 10万円

濱田健司さん (松波) 老人福祉の充実に10万円

社会福祉協議会へ

安孫誠二さん (宇出津) 20万円

本谷憲市さん (真脇) 20万円

能登町グラウンド・ゴルフ協会 12,000円

笹野裕幸さん (宇出津) 20万円

いわき市社会福祉協議会

役職員一同 (福島県) 3万円

小林市社会福祉協議会

職員互助会 (宮崎県) 148,000円



みんなで支える子どもたちの学び

このたびの能登半島地震では、奥能登を中心とする各地で被害が生じ、子どもたちの教育環境にも多大な影響が生じています。そこで能登里海教育研究所では、これまでの授業や海洋教育イベントの経験を活かし、被災地の子どもたちの学びを支える支援活動を、無償・無条件で実施することにいたしました。

被災地での救助や復旧作業に支障がないよう、まずは金沢市など生活基盤が整っている地域の二次避難児童生徒への支援から開始し、被災地に留まっている子どもたちへの支援も順次進めています。

■二次避難中の能登の高校生に、特別授業

1月22日、能登の親元を離れて金沢市内に二次避難中の高校2年生たちに、浦田研究員がイカの解剖講座を実施しました。

小木の船凍スルメイカを観察した生徒たちからは、イカがなぜ面白いのか、またイカを締める仕組みについて、産卵数や卵塊形成の仕組みについてなど、さまざまな質問が出ました。

一人一人が不思議に思ったこと、感じたことの対話を通じて、生徒たちの気持ちが少しずつほぐれて明るくなったように感じられました。

■二次避難中の輪島高生が飛び入り参加SSH、NSH発表会

1月23日、金沢市内で開催の石川県スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会・いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）課題研究発表会に、

親元を離れて金沢市内に二次避難中の輪島高校2年生5名の特別参加をコーディネートしました。生徒には主体的に発表の場に参加できるように事前指導を行い、それぞれが興味を感じる演題にアクセスできるようにサポートしました。また事後にはそれぞれの生徒がどの研究内容からどのような理解と所感を得たかをプレゼンしてもらったことで、より積極的な参加を促しました。

発表は105演題もあり、各校の生徒がひしめく広い会場で戸惑う生徒もいたようですが、それぞれが関心を持ってさまざまな発表に接し、その内容を理解して楽しめたことを輪島高生の口からたくさん聞くことができ、彼らにとって、良い学びの機会になったことが実感できました。

なお、本発表会では能登高生による「能登の水・加賀の米で作るパーソナライズ海中熟成酒」の発表もあり、他の多くの研究と異なりデータ分析よりビジネスプランニングを重視した内容は他校の生徒たちの関心を引いたようで、多くの質問が出ていました。



▲SSH、NSH 生徒研究発表会と能登高生の発表

■困難の中で、県外校への支援も継続

今回の地震で里海研のスタッフに死傷者はありませんでしたが、塩井事務職員は自宅崩壊で奥様を亡くしました。また倉庫が地盤崩壊で傾斜し使用不能になり、能登町内の学校で予定していたウニの受精観察授業も延期となるなど、活動面での影響も出ています。

しかしその一方で、これまでの里海研の活動に関心や協力をいただいていた県内外の皆様から多くの応援のメッセージをいただき、また塩井事務職員も2月9日付北國新聞で大きく報道された通り棋王戦への協力を決断するなど、希望の力を感じています。

2月5日には八王子市立横山中学校の生徒144名に特別授業をオンラインで実施しました。余震と停電の中で守り抜かれた小木の船凍スルメイカが教材として活用され、漁業を支える人とインフラの大切さについて多くの生徒が実感したことと思います。災害を乗り越えて地域を守ることは全国共通の課題であり、子どもたちの学びを地域とともに支える活動はますます大事になると思われます。



▲小木小に設置された水栓ポンプ

このたび、福島県で放課後児童クラブが運営されているNPO法人makara様よりタッチレス水栓ポンプを12台寄贈いただきました。断水中の学校等での衛生改善にプラスになります。現在配布を進めておりますので、ご関心のある方はご連絡ください。（能登里海教育研究所 浦田 慎）

能登高校内に

「みんなのこども部屋わくわくぷらざ」

能登高生が子どもの居場所作り

能登高校魅力化プロジェクトは、能登高校、能登町役場、認定特定非営利活動法人カタリバと協力して、地域の子どもの居場所「みんなのこども部屋わくわくぷらざ」を2024年1月12日に開設しました。

子どもたちの遊び相手を担ってくれているのは、放課後の能登高生たちです。開設から一緒に遊んでいる子どもたちも高校生の名前を覚えて、優しいお兄さんお姉さんとはまるで昔からの友だちのようです。自分たちの状況も大変な中、ボランティアを買って出た能登高生たち、本当にありがとうございます！

2月9日には、料理人の沢山 慶充さんと民宿ふらっとの皆様がクレープ作り体験会を開いてくださいました。子どもたちはクレープ作りを楽しみ、振舞われたクリームブリュレをおいしくいただきました。ご支援いただきありがとうございます！



▲能登高生と子どもたち



▲クレープ作り体験

地域産業科3年生による課題研究発表会

2月8日、能登高校地域産業科3年生による課題研究発表会が開かれました。1年間の課題研究の総まとめとして、地域産業科3年の生徒たちがスライド発表を行いました。

震災の影響で活動時間や内容が制限されたり、一部生徒はオンラインでの参加になるなど、難しい条件の中でしたが、これまでの探究活動の成果を見事に発表しました。

一般参加による講評では、質疑応答に丁寧な答えの姿もありました。探究活動と発表会にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。発表した能登高生、本当に素晴らしかったです！



▲課題研究発表会の様子

受験生、進学へ向けて奮闘

一般入試での進学を目指す能登高校の3年生は、震災から2週間と経たない内に、金沢で1月13・14日の大学入学共通テストを受験しました。その後も金沢のホテルに滞在し、大学入試までの期間中、受験勉強に取り組んでいます。

受験生の中には震災直後に避難所運営に協力しながら勉強していた人もいました。避難生活による学習時間の圧迫、慣れない環境、生活への不安などが重なる逆境の中、それに負けず、中には自己ベストの得点を叩き出した受験生もいました。

まちなか鳳雛塾では受験生に限らず、すべての塾生を対象にオンラインで授業や質問サポートを行っています。塾生たちと話す中で感じられる前向きさやポジティブな姿勢は、本当に私たちも見習うべきことだと思います。

私たちは今後も全力でサポートしていきます！頑張ってください！走り切りましょう



▲金沢に滞在している受験生